



研究テーマ

伝え合い・学び合いを通して育む確かな学びと豊かな心

真鶴町幼小中合同教育研究会

授業研究	幼(保)小中連携事業	ふるさと教育の充実
・幼(保)小中一貫教育校実現に向けた課題の整理 ・12年間を見通したカリキュラムの編成・再編 ◆ふるさと教育研究部 ◆学校づくり研究部 ◆外国語研究部 ◆国語科研究部 ◆算数・数学科研究部 ・校内研究会の相互参観、研究協議への相互参加 ・授業に関する真鶴スタンダードの確立 ・全国学力・学習状況調査の結果の検証	・あいさつ運動(小中) ・園児・児童生徒指導(幼小中) ・中学校学習活動発表会への参加(幼小中) ・幼(保)小連絡会の開催(幼小) ・園児交流(幼小) ・保育体験(幼中) ・ウィンタースクール、部活動見学(小中) ・中学校運動会への参加(幼中) →目標の明確化・振り返りの充実	・年間指導計画の検証と修正 ・学習内容・実施形態等の確認・情報共有 ・キャリア教育の取組 ・家庭・地域への学習成果等の情報の発信

幼・小・中	ひなづる幼稚園	まなづる小学校	真鶴中学校
研究テーマ	心と体を弾ませ、主体的に取り組める環境づくり	粘り強く学ぶ子の育成 ～読みの視点を明確にした「読みたい」と思える授業づくりを通して～	目標を持って、主体的に学ぶ力の育成 －幼小中、12年間の学びを見通した授業づくり－
研究内容	・12年間の子どもの育ちの連続性を大切にしたい土台作りを行う。 ・子どもたちで作り出した遊びが充実・継続し、発展していける環境づくりを行う。 ・環境づくりを通して、子どもの思いや主体性を大切にしていける保育を行う。 ・読み聞かせと読書習慣の定着を図る。	・就学前に獲得してきた力を生かしながら、「わかる・できる」授業を積み重ね、中学校の学びにつなげる。 ・文章を読み取る際の視点を明確化し、児童が読みの視点に着目できるようにする。 ・学びを生かして、児童が主体的に学習できるよう、活動の工夫や学習ゴールの工夫をする。 ・語彙を大切に、語彙力を高める。 ・読書活動を推進し、「読書の日常化」を図る。 ・学習場面でのICT機器の活用を推進する。	・幼小中12年間の学びを意識し、既習事項を活用した授業を行う。 ・生徒の実態を踏まえた上で、「授業のユニバーサルデザイン」を基盤とした授業改善に取り組む。 ・多様な人々との交流を通し、思いやりの心と豊かな人間関係を育む。 ・朝読書(MT)の時間を充実させる。
講師	元酒匂幼稚園副園長 杉浦真由美 先生	山梨大学大学院教授 茅野政徳 先生 桜美林中学校・高等学校 川原田康文 先生	早稲田大学名誉教授 小林宏己 先生

まとめ

今年度は「真鶴町幼小中合同教育研究会」を再編して2年目であった。ふるさと教育、ICT、外国語の各研究部会は、令和7年度のカリキュラム完成に向けて、実践を中心とした研究を進めている。また、令和12年度に新しく小中一貫の「義務教育学校」を開校することが決まり、新たに「学校づくり研究部」を立ち上げ、児童・生徒のよりよい学びの場の整備に努めている。合同教育研究を進める中で、教育目標の一貫性、学習指導の連続性、学習内容の系統性が高まり、授業の質の向上につながった。また、園児・児童・生徒の声を大切にした「環境づくり」や「授業づくり」に一定の成果がみられ、様々な場面で学習者が主体的に学ぶ姿が見られるようになってきた。今後も、幼小中の垣根を乗り越え、様々な子どもの育ちに応じつつ、一貫教育の強みを生かした、園児・児童・生徒と取り組む授業づくりに努めていきたい。